



## ブラジル岩手県人の皆様へ

### 達増知事のメッセージ

ブラジル岩手県人の皆様、この度岩手県知事になりました達増拓也です。ブラジル岩手県人会の皆様には、ブラジルで岩手との関係で大いに尽力を頂いております。私が知事就任しました時にも、千田曠暁会長から御祝辞を頂きました。

5月22日には、菊地義治名誉会長にも県庁において頂きまして祝辞及び、ブラジル岩手県人会創立50周年、ブラジル日本移民100周年のご案内を頂き、又県人会活動のDVDも頂戴しました。

先ず、移住者の皆様方には本当に100周年になる訳ですが、気候、風土、言語、習慣等が異なる新天地で、幾多の困難に立ち向かい、険しい道を切り開かれて、今では農業振興のみならず、ブラジル社会全体の発展にも大きく貢献している事に、深く敬意を表します。

今、日本とブラジルとの関係は非常に良いものがありますが、岩手県人の皆様も多大な貢献をされたと思います。

岩手県の方でも、ブラジル県人会の推薦を頂いた町田のり子さんが、県費留学生として来県され、矢巾町の産業技術短大の産業デザイン科で勉学に励んでいるところで、岩手県としてもいろいろな形で県人会皆様との関係を深めて参りたいと思います。

来年の記念式典の行事には、丁度岩手県議会との開催とも重なってしまいますが、何とか日程を調整し、参加させて頂きたいと思っています。

私が知事選挙の際にスローガンとして「希望王国岩手」というものを訴えました。日本全体の格差、特に中央と地方の格差の拡大という事で、地方の経済、地方の生活といろいろ厳しいところもありますが、グローバル化の時代に上手く世界と結び付く事が出来れば、その地域はどんどん伸びてゆくという時代だと思っています。ですから、ブラジルとの関係も岩手にとって大きな希望だと思っていますので、そうした希望をブラジル在住の岩手県人の皆様にも感じて頂いて、希望ある新しい時代を切り開いていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

2007年5月28日



達増知事

## ブラジル県人会創立50周年について (日本移民100周年)

会員の皆様はじめ、母県庁、賛助会員、関係者の皆様には、益々ご清祥にてお暮らしの事とお慶び申し上げます。

さて、県人会記念式典まで残り11ヵ月を切り、記念行事日程を正式に決めました。

県人会は会員皆様方のご努力とご支援、また先人、先輩の方々のお導きのお蔭で創立50周年を迎える事が出来ます。

式典は移住者である一世主導で実行される最後の記念式典になると思います。特に来年は日本移民100周年を迎える節目の最中に式典を開催致します。会員ばかりでなく岩手県出身者のご家族や、岩手とつながりのある方々にも参加して頂き皆さんと共に、お祝いして頂きたいです。

母県に於いては、達増知事が県人会へのメッセージで式典への出席を表明されており、また賛助会員の方々、報道関係、農協関連その他と大勢の慶祝が期待されます。

皆様と一緒に式典を盛り上げましょう。

### 県人会創立50周年式典募金のお願い

県人会では記念式典まで1年を切った事から、式典関連費用の捻出のため募金活動を始めました。当国でも経済的には厳しい世の中で、分割払いで皆様をお願いする事となりました。募金活動にご協力を切にお願い申し上げます。

岩手県人会長 千田曠暁

カウントダウン

創立50周年

まで11ヶ月

☆創立式典関連日程 2008年6月

- \* 14日(土) 慶祝団歓迎前夜祭 (県人会ホール)
- \* 15日(日) 50周年式典 (文協記念講堂)
- \* 16日(月) 第2回海外県人会サミット
- \* 17日(火) 杉村済公使の墓碑整備披露式 (リオ)

☆移民100周年記念式典2008年6月

- \* 18日(水) 移民の日100周年記念特別式典 (ブラジリア)
- \* 21日(土) 移民100周年記念式典 (サンパウロ)
- \* 22日(日) 移民100周年記念式典 (パラナ州)



# 食べ放題に人気



6月17日(日)恒例の「第18回いわて餅まつり」が午前11時から開催された。

県人会では16日270キロの餅を搗いたが、意外と前売りが多く急遽当日45キロの餅をつくり対応。出来た餅は合計315キロだった。

当会自慢の「食べ放題」は(10レアアイス、約5ドル)で人気が高く、雑煮、あんこ、納豆、きなこ、大根おろし、ゴマ味など多彩な味に舌つづみ。去年は15個食べたが今年は30個ちかくに挑戦し達成したと満足そうな年配の人もいた。中には「岩手のずんだ餅(鞘豆を潰した味)が食べたかったと故郷の味を乞う人もいた。

開催にあたり当日定刻までに準備が整わず早くおいで頂いたお客さんに待って頂いた事が心残りだった。来年は満足して頂けるよう心掛けたいと思った。

尚、当日は白餅を求める人、食べ放題参加者と300名以上の来客があり大変賑わった。

## お知らせ

★ 8月26日(日) 午前11時より「**第35回会員交流懇親会**」「**三枝たか子先生歓迎会(自閉症教育専門家)**」を併せて行います。また先に母県を訪問した畑勝喜氏が収録した「達増知事からのメッセージ」を放映いたします。

食べ物を持ち寄りをお願いします。他は県人会で用意いたします。ご家族お揃いでお出でください。

★ 9月2日(日) 午前9時より「**第24回東北六県・北海道親睦演芸祭**」が宮城県人会館にて行われます。

★ 9月25日(火) 26日(水) 27日(木) と**会員慰安温泉旅行**を行います。「**アバレーとキロンボ**」

スケジュールは■25日(火) 午前7時半出発、12時アバレー着、後リオ・パラナパネマ湖畔巡り(遊覧船)、夕刻キロンボ温泉着泊、■26日(水)、自由行動・泊、■27日(木) 昼食後帰路へ、午後6時着予定。

☆ 費用は300レアアイス。70歳以上の会員には会より補助があります。会員外でも参加出来ます。

☆ 満席になり次第締切ります。申し込みは事務局へ。

### 会報発送トラブルのお詫び

先月よりコンピュータの不調により、アドレスが引き出せず、一部アドレス違いや発送の遅れ(多分今月も)がありました。会報未着の場合はご一報下さい。ご迷惑をおかけ致します。

## ふるさと図書室だより

先月も県人会図書室の利用者・冊数が増えるばかりでなく本の寄贈者も増えている。利用者の中には家で読み尽くした本であるがと云って1冊或いは数冊ずつ寄付していく人がいる。ある主婦から本を大事にしてくれ、且つ多くの人々に利用して頂きたいと多数の図書類を届けていただき大変有難い事と感謝。

寄贈頂いた本は藤村副会長が表紙にカバーを付けてからパソコンに全データ(棚番号、図書名、作者名、発行年、出版社、など)を打ち込んで棚に整理しつつあり現在入力冊数は7000冊以上。

県人会図書室は地域或いは遠方の方々までご利用頂き嬉しい悲鳴をあげている。



6月の図書利用

197名 ..... 738冊

## 留学生・研修生募集

2008年度県費留学生・海外技術研修生を募集しております。希望者は早めに県人会まで申し込み下さい。

## Dreams Come True

ニューヨーク・大連・サンパウロetc...世界10カ国  
二戸の酒米「ぎんおとめ」で造られる  
二戸の地酒 南部美人は世界へはばたく。

南部美人を飲むサンパウロの店  
●Jun Sakamoto TEL. 3088-6019  
●A-1 TEL. 3145-1833



株式会社南部美人  
岩手県二戸市福岡字上町13  
TEL.0195-23-3133  
FAX.0195-23-4713  
E-mail:sake@nanbubijin.co.jp  
ホームページ毎日更新  
http://www.nanbubijin.co.jp  
●お酒は20歳になってから

- 1 宇佐美カツミさん当会でポルトガル教室を開設。
- 4 日本を出て4年。北米、南米を旅行中の永石夫妻よりペルーからカナダ回りで帰国とメール。
- 6 賛助会員水野昭彦氏は日本で逝去と報あり、かよ子夫人にお悔やみのメールを入れる。返信あり。
- ☆ 田口亮毅さん(イビウナ在)が5月18日事故により逝去の報あり。
- 8 高橋勇一郎氏(長野県在)より葉書受信。
- 11 菅原圓雄氏より会報受領と畑氏歓迎会の葉書受信。
- ☆ 吉田恭子さんから総会の報告あり、また、遠野の佐々木栄洋氏から総会の写真4葉受信。
- 12 増田稲子様より漆器寄贈について受信。
- ☆ 秋田県人会で東北親睦演芸祭準備委員会に会長出席。
- ☆ ニッケイ新聞にいわて餅まつり案内記事。
- 14 サンパウロ新聞に餅祭り記事。ニッケイ新聞に賛助会員総会の記事。関係者へ配信。
- 15 国際課の北橋主任から記事の返信あり。
- ☆ 国際交流協会坂本次長より総会当日8名から会費納入があった旨のメール。
- 17 第18回いわて餅まつり開催。盛況300名以上。
- ☆ 三上良博氏より父良三は5月20日逝去と報。享年90才。お悔やみを返信。
- ☆ 岩船信一氏よりメール受信。
- 18 国際交流協会小田島理事長より激励と来年の式典に是非出席したいとのメール。
- ☆ 移民の日 イビラプエラの先没者慰霊碑法要に千田会長出席。
- 20 釜石市在の千葉悦子さんから、平泉町出身の千葉福太郎、ツキ、やち子、ハル子、節男と祖父の徳太郎さんの消息依頼の手紙。(大正8年11月2日、モンテビデオ丸で移住)不明者欄に記載あり。返信。
- 22 世界マスターズ柔道大会に出席した、高橋勘十八段(北上

市在)、鬼柳一字(花巻市在・AIO精蜜代表)ら8名が来館。



- ☆ 横山昌子様より図書172冊、テープ5本、CD33枚などの寄贈あり。
- 23 定例役員会・餅まつり慰労会開催。議題は餅祭り報告、日本祭り、県人会50周年、東北ブロック演芸祭、会員交流懇親会、会員慰安親睦温泉旅行など。
- ☆ サンパウロ新聞に「食べ放題が大人気」の見出しで記事掲載。
- 25 パ国イグアスーからOISCAの渡辺氏来所。移住地や県人などの現状を伺う。
- 27 ニッケイ新聞に餅まつり「暑くても良く売れた」の見出しで記事掲載。
- 28 サンパウロ・ニッケイ両紙に釜石在の千葉悦子さん依頼の親族千葉徳太郎さん一家の尋ね人記事あり。
- ☆ 県国際交流協会坂本進事務次長より、会費納入者に沼崎喜一氏(山田町町長)が賛助会費納入の知らせ(沼崎町長の弟故秀明氏遺族がブラジルに居住)
- ☆ 県連代表者会に会長出席。
- 29 ニューヨーク県人会岩崎会長より50周年について問い合わせ。
- 30 宮城県人会七夕まつりの「ミスゆかた」選出審査員に会長出席。県人会太鼓「雷神」がアトラクションを飾る。

## 会費納入者名 (6月) 敬称略

巖岩毅、武藤時男、内海博、  
 亀ヶ沢アメリア、高橋義明、千葉和枝、  
 多田文子、井貝寿美子、田口清基、  
 田口晃基 (10名累計134名)

※ 149号で高橋慶二とあるのは高橋敬一の誤りでした。

## 寄付・寄贈 (6月) 敬称略

佐々木憲輔	.....	お茶菓子
図書利用者多数	.....	お茶菓子、その他
横山昌子	.....	図書172冊、講演テープ6本、ミニCD33枚
青木さよこ	.....	図書 38冊
佐々木寛一	.....	図書 5冊
稲本敏郎	.....	図書 20冊
和田司	.....	図書7冊、ビデオ 5本
稗貫慶明	.....	図書 12冊
三島照江	.....	図書 1冊
清水宮路	.....	図書 3冊
松田幸男	.....	図書 8冊
藤木テレーザ	.....	図書 3冊
		合計269冊

## 新賛助会員ご紹介

### 57 沼崎 喜一様

(64才・山田町町長)

住所 岩手県下閉伊郡山田町織笠 11-5  
 〒 028-1361 (0193) 82-3410  
 入会目的は県人会の情報入手のため。

## 賛助会員会費納入者 (敬称略、2006年8月以降)

工藤政二 (入会金と06年度分)	高橋薫 (07年度分)
小関浩喜 (05年06年分)	松本定次郎・トミ (07年度分)
我賀武耕 (06年分)	坂本洋 (07年度分)
菊地光明 (入会金と07年度分)	菅原圓雄 (07年度分)
岩船信一 (07年度分)	遠藤勇 (07年度分)
吉田重雄・英子 (07年度分)、	東根千万億 (07年度分)
清水泰宏 (07年度分)	佐々木栄洋 (07年度分)、
高橋量平 (07年度分)	山折昭磨 (07年度分)
和美宏幸 (07年度分)	沼崎喜一 (入会金と07年
小田島栄 (07-年度分)	08年度分)

ありがとうございました

## 父娘二人旅

文 知勝喜・カメラ 知カーナ真樹



念願が叶い9000 mの上空から見た富士山

## はじめに

東京に住む私の兄が、肝臓ガンの手術を受けた事を姪からの電話で知ったのは、昨年（2006年）末の事であった。

手術は成功したものの3か月の観察期間が必要という。何しろ肝臓ガンというのは自覚症状が無く、異変に気付いた時には既に手遅れになっているという、厄介な病気である。

ところが、今年3月になってガンが転移しているのが見つかったが、兄には年齢的に判断しても「今度は別の方法を

とらざるを得ない」と医師は云っているという。

そんな時、日本での取材依頼の話が来た。それではと、兄の病気見舞いを兼ねて取材行のスケジュールの調整に取りかかったのを見て、娘が「私も一緒に行く」と云いだした。娘は建築中であった2LDKのアパート（日本式に云えばマンション）が完成し「来年結婚したら、当分日本へは行けないから」と云うのが表面向きな理由だったが、私のビールの飲み過ぎの監視役を密かに二人の兄から命じられていたらしい。こういう訳で、三週間にわたる父娘二人旅が実現したのである。

スケジュールは、今は亡き妻と今度行く時と用意していたものに、娘のリクエストを加えたものとなったが、私としては我が家のルーツを探りたいという大きな目的があった。

東京で逢った兄は、想像していた以上に元気そうで、もしもの時と持ち持って行った黒の衣服の出番は無さそうだった。

二回目の手術は、身体に負担の少ない足の裏から医療機器を患部に入れて取り除いたそうで、その結果がでるのには、まだ、二週間先という事で、私は、良い結果が出ます様にと神に祈りながら、幾分安心した気分が旅に出たのであった。

## 平田周防守

畑家に伝わる家系図の最初に書かれている祖先の名前は、平田周防守（ひらたすおうのかみ）なる人物である。

唐突な話で恐縮だが、今から15年程前にビデオ「教祖物語」の製作を依頼され、サンパウロ市近郊アルジャーにある神乃家ブラジル大神宮を初めて訪れた日の事である。

信徒総代の方に案内されて教祖の前に通されたのだが、教祖は無言のまま。私の後をしきりに気にしており、気になって振り向いて見たのだが、そこに誰の姿もなかった。

その後、半年程撮影に通っているうちに、或る日、気になっていた初めて訪ねた日の事を聞くと“あなたの後、高貴な方がピタリとついてこられたので、驚いてしばらく口がきけなかった。長身で細面の顔に立派な口髷を生やし、剣（つるぎ）を差し威厳に満ちたお方”だったと云う。

私は“我が家の先祖に平田周防之という人が居る”と話したところ、“多分その方があなたの守り神として、いつも見守ってくれているのだろう。あなたは幸せ者だ。”と語った。

教祖は岡山生まれの博多育ち。修験者の父親の影響を強く受け、女性ながらも小さい時から厳しい行者の修業を積み、ついに「荒川」と

名乗る神がのりうつる様になり、人々の悩みに荒川神の言葉を即答する事から信者が増え、一時期にはサンパウロ州知事までが相談に訪れたという。

ブラジルの神道関係では、随一日本の神社本庁とのつながりを持ち、現在の本殿は先頃の伊勢神宮遷宮の際の外宮“風の宮”御下賜の木材で建てられている。

こうした事もあって、私はこのご先祖さまに特別な思いを持っていた。ただ遠く周防灘に居た平田姓の祖先が、いつ頃どうして福島県会津若松に畑姓となって現れたものか、非常に興味のあるところであるが、何はともあれ先祖の居た周防灘の空気を肌で感じようと、空路北九州へと旅立ったのである。

ご存知の様に周防灘の位置は、瀬戸内海の一歩奥、山口県と福岡県の間に関門海峡をはさんで広がる海域である。

私の推測では、平田周防守は福岡県側に居たと思っている。それはまだ、日本で報道のカメラマンをしていた時、福岡県の或る村に住む平田さんの取材に行ったところ、その村の住民の半分が平田姓、あとの半分が青木姓で、目当ての平田さんを探すのに苦労した経験があり、そんな事から漠然と私の祖先は九州人だと信じて来た。

妻との旅が実現していれば、この北九州行きは東京から船で、瀬戸内海の島々を見ながら周防灘に入る予定だったが、娘と一緒に、そんなノンビリとはいかず、空から周防灘を見ながら北九州に入る事になったのである。

## 羽田空港で

羽田空港でチェックイン時の事、カウンターで受け付けてくれた方の胸に「マキ」と書かれたネームプレート。我が娘と同名の愛らしい女性であった。「窓側の席を取れますか?」と私。「申し訳ございません、本日は満席です・・・」と彼女。そこでひるまひの私が私の良いところ。「娘に富士山を上空から見せたいので・・・」マキさんは私と娘と航空券を見くらべていたが、航空券がサンパウロ発行のものとは分かったらしく「少々お待ち下さいませ」と云って奥へ入って行った。「ナビ私恥ずかしいよ」と娘が云っているところへ、マキさんが笑顔で戻って来た。「左側の二人席をご用意出来ました。どうぞ良い旅を・・・」それは爽やかな言葉であった。

今の日本人は冷たい、と良く云われ私もそう感じてきたのだが、こんなに親切で可愛い女性に出会ってみると、私の考えも軌道修正をしなければならぬかも・・・

席を変えさせられた乗客には悪い事をしたと思いながら、機内に入ってみると全員が葬式帰りかと思う位90%の乗客たちがダーク・スーツに黒カバンを抱えた姿。サンパウロ出発時に指定されていた席は、右側三人掛けの通路側と中の席で、座っていたのは二人共商社マン風。共に新聞を広げており、窓外の景色には全く関心が無い様子なのを見て、内心ホットして私達は席についた。

その席は、翼の付け根から前へ2番目の列で、A-C 27の席。ここは下界の風景とエンジンから翼の先端までが、ファインダーに収まる空の旅の撮影には特等席なのであった。

つづく



空港のレストランでハンバーガー・ライスを食べる娘のマキ。ブラジルでは食べられないメニューである。



## 田 野 畑 村

(田野畑村HP (www.tanohata.iwate.jp) より)



田野畑村は156km<sup>2</sup>、人口4500名余の小さな村で山林が60%を占め、陸中海岸に面している。

西部と中央部は、北上山地から続くなだらかな山々がつくるなだらかな風景が広がり、東部の海岸は「海のアルプス」とも呼ばれている。

陸中海岸公園はリアス式海岸が延々と続くこの光景は、見る者の心に迫り感銘を与えてくれます。中でも北山崎代表される

田野畑海岸一帯は、国内第1級の観光資源となっている。北山崎、鵜の巣断崖めぐり観光船は海上から見上げる断崖がお勧め、自然が作り出した弁天崎、北山崎の造形美が美しく、圧倒されウミネコが歓迎します。

村の主な産業は酪農と水産業で三陸漁場ではワカメ、昆布、鮭、アフビ、ウニなどが主。